「空き家の解体について」
清水 絢仁 議員

「御代田町に動く投票所をつくろう」
大村 陽都 議員

「御代田町の写真スポットのマップ制作」
村上 空海 議員

「御代田町の動物と仲良く そして安全に暮らそう」
浅井 太鷗 議員

第6回 中学生模擬議会

～ 中学生議員８名が町行政について一般質問 ～

１月22日、第６回中学生模擬議会が開催されました。

実際に議会が行われる議場にて、中学生３年生８名が議員となり、御代田町の安心・安全な暮らし、これからのまちづくりについて考え質問をしました。

中学生議員以外の生徒は議場の傍聴席や役場庁舎内の委員会室で中継映像を見て、模擬議会の様子を見守りました。

中学生議員の質問と答弁について、一部を紹介します。全体の議事録については町ホームページをご覧ください。

「病児保育について」
重田 陽名 議員

「誰でもわかる防災マップについて」
市川 峻 議員

「御代田駅の課題と改善について」
山本 菜月 議員

「子ども食堂を通じていろんな世代との交流の場を増やしたい」
伊藤 未尋 議員

Q 御代田町のフォトスポットマップ制作について

村上 空海 議員

質問 私は、御代田町の写真スポットのマップ制作について質問します。日本中で少子高齢化が進んでいく中、御代田町は人口が増加傾向にあることを知りました。ですが、私たち中学生は御代田町には老若男女に刺さるこれといった魅力がないように感じます。町として御代田町の魅力を発信するために行っていることはありますか。私たちは探究を通して、町により関心を持ってもらえるようにするために、フォトスポットを紹介するのはどうかと考えました。町内をフォトスポットマップ形式にし、そのチラシを制作し町内に設置することで、観光客の方々などに御代田町を巡るきっかけをつくることができるのではないかと考えます。

SNSでの発信と合わせ、実現への努力を

答弁 町では浅間山が美しく望める箇所を従来から浅間八景として選定しており、御代田町のフォトスポットとして非常に素敵な場所です。また、町の公式インスタグラムを活用して、町内の魅力的な風景も紹介しております。昨年着任した地域おこし協力隊員2名も、移住に関連する情報等を発信するためにインスタグラムを運用しております。スマートフォンやSNSの普及により、写真がこれまで以上に身近なものとなっていることから、フォトスポットマップを新たに製作することも、町の魅力発信に繋がる取り組みになると考えております。

町で毎年開催しております浅間国際フォトフェスティバルでは町内外への写真文化の発信を行っておりますので、フォトスポットマップを制作・設置することも含めた写真による町の魅力発信という広い視点から、フォトフェスティバルの活動にご参加いただくことで、新たな魅力発信の手段について検討を深められると考えております。このフォトスポットマップという考え方は非常に素敵で、かつ、これからの町づくりに優良な取り組みというふうに捉えましたので、実現に向けて努力してまいりたいと思います。

Q 動物と仲良く安全に暮らすための取り組みについて

質問 私は、御代田町の動物と仲良く安全に暮らすための取り組みについて質問します。質問事項の中に仲良くと入れたのには理由があります。それは、今回の課題を調べる中で、多くの文献でニホンオオカミ絶滅とクマの関係に書かれていたからです。ニホンオオカミは、野生動物の頂点に位置していましたが、明治時代以降に数を減らしたことで生態系が崩れ、クマがトップに位置したという説があります。そんな中で、駆除だけでなく、生態系を考慮しながらの対策という意味で仲良くという言葉を入れました。ただ、実際にはニュースでも、クマによる人的被害や農作物への被害が多く取り上げられています。そこで、現在町では具体的にどのような活動を行っているのでしょうか。

浅井 太鷗 議員

生息域を分けて共存するための対策を実施

答弁 前提として、クマ、イノシシ、シカなどの野生鳥獣の生息域と人間の生息域を分けて共存することがご質問にある仲良く安全に暮らすということになるかと思います。しかし、野生鳥獣の個体数が増えすぎると、どうしても餌を求め、人里に出没するクマやイノシシが出てきてしまい人間にとって大変危険な状況となるため、被害が深刻な箇所には捕獲檻やくくり罠を設置し、駆除を目的とした捕獲をしています。しかし、捕獲檻やくくり罠は安全性の面からどこにでも設置できるものではありませんので、農家の皆さまには被害を未然に防ぐことを目的として、電気柵などの設置を勧めており、町では1農地につき経費の2分の1以内、上限10万円の補助事業を実施しているところです。

また、クマやイノシシを人里に寄せ付けないという観点から、緩衝帯整備事業を実施しております。緩衝帯とは、人間の生息域と動物の生息域の間に見通しの良い場所を作り、動物との突然の遭遇や出没を抑制するためのものです。遠くから人間がいるということが確認できれば、近寄ってこないことがほとんどですが、見通しが悪いと不幸な事故につながります。実際数年前に千メートル林道で、そういった事故が起きたことを背景として、令和6年、7年度で千メートル林道の両脇の幅20メートルにわたり草刈りを実施し、緩衝帯を整備しました。その他さまざまな対策を実施し、今、全体的に町では出没情報が減っております。

中学生議長あいさつ

議長として議会に参加して

土屋 伊織 議長

始まる前は、「噛んだりしたらどうしよう」とか、「台本間違えたらどうしよう」など不安でいっぱいだったけれど、議場に入る前に議員の方たちに、「練習どおりやれば大丈夫だよ。」と声をかけていただいたおかげで、緊張が和らぎ落ち着いて進めることができました。模擬議会に参加し、議員の皆さまが日々御代田町のために熱い思いをもち議論を行っていることが、議長席から見て伝わってきました。また、中学生議員の皆さんは自分が思った御代田町の足りない部分や改善点などをうまく自分の言葉で伝えられていたので、これからよりよい御代田町になっていくのではないかと思いました。大人の方たちと同じ場に立って、最初は難しいものだと思っていたのですが、実際に話している内容は身近なものなのだと感じました。また、普段の学校生活では学べない対話の大事さを感じることができました。このような、貴重な経験をこれからの人生に生かしていきたいです。